

手と手

地域教育コーディネーター
高井 美保子

～よろしくお願いします～

巻東中学校の「地域と学校パートナーシップ事業」も15年目を迎えました。

地域教育コーディネーターの高井美保子です。

地域ボランティアと学校をつなぐパイプ役として仕事をします。地域と共に歩む学校づくりを進めるにあたり、保護者・地域の皆様のご理解とご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

1年総合学習「田植え」

5月9日(金)の午後、学校田に於いてJ A新潟かがやき漆山アグリセンター・潟頭農事研究会の15名の皆様から指導していただきながら、1年生が田植えをしました。

あらかじめ午前中に、潟頭農事研究会の方が田んぼに“田植え定規”で線を引いてくださいました。

午後からいよいよ田植え本番。生徒たちは、J A新潟かがやき漆山アグリセンターの職員から苗の植え方を聞き、田植えを行いました。素足で泥の中に入ることに慣れていないため、田んぼになかなか入れない生徒もいましたが、いざ始めると集中して苗を植えていました。貴重な田植え体験ができました。

J A新潟かがやき漆山アグリセンター・潟頭農事研究会の皆様、ありがとうございました！

～ “田植え定規”で線引きの様子～



「苗」を植えやすいように、線を引いていただきました。

裏面へ続く

《開始式の様子》



～植え方の説明～



苗をください。



足を入れる場所はここだね。



ボランティアの方と一緒に、空いている所に植え残しが無いように苗を植えています。

【生徒の声 （一部抜粋）】

- ・僕は、田植え体験の1週間前のGW中に田植えをしました。そのときとは違って手で植えるのは難しかったです。お手伝いに来てくれたボランティアさんたちのアドバイスのおかげでとてもスムーズにできました。僕たちが植えたお米が美味しくなると嬉しいです。次の稲刈りも頑張りたいです。
- ・私たちが普段食べているお米一粒もこの苗1本からできていると感心し、米に対する感謝の気持ちを改めてもちました。最近、米価格が高騰し数が少なくなっている現状があります。自分たちにできることを考え、行動できる人になりたいです。
- ・3列植えるだけでも結構な時間がかかったのに、1つの田んぼを手で植えていくのは大変な作業だと思いました。お米が食べられることは当たり前じゃないと思いました。田んぼの土がドロドロで、なかなか慣れなかったけれど、すごく楽しかったです。田んぼに入る機会はめったにないので今回体験できて良かったです。
- ・お米を作るのがこんなに大変だとびっくりしました。わたしたちが普段食べているお米は米農家さんが一生懸命作ったものなので感謝して食べたいと思いました。田んぼの中に入ってみると泥が重くて動きづらかったので大変でした。一生懸命に作ったのでおいしく育てほしいです。